



第40回(平成28年度)

久留米市民意識調査 報告書

 水と緑の人間都市・久留米

はじめに

現在、我が国は、急速に進む人口減少や高齢化をはじめとして、社会構造の大きな転換期を迎えています。

そのような中、久留米市が今後も持続して発展していくように、「人」「安心」「活力」をキーワードに、「市民一人ひとりを大切に」「安全に安心して暮らせる」「活力・賑わいのある」まちづくりに取り組んでいます。

将来を担う子どもたちや、今日の久留米市を築いてきた高齢者をはじめ、全ての人々が安心して暮らすことができる地域社会を作るために、医療や福祉の充実とともに、地域防災力の強化や事故・犯罪の予防に重点を置いた安全安心のまちづくりを行ってまいります。

また、昨年整備した「久留米シティプラザ」を最大限に活用し、地域産業の振興や文化芸術の活性化に取り組み、賑わいのあるまちづくりを進めてまいります。

さて、昭和52年に始まり今回で40回目を迎える市民意識調査では、「行政施策」「地域コミュニティ活動」「防災対策」「超高齢社会のまちづくり」についてご意見をうかがいました。これらの調査結果は、それぞれのテーマにおける取り組みを、さらに進めるための基礎資料として活用してまいりたいと考えています。

この調査の実施にあたり、アンケートに回答いただいた市民の皆さまをはじめ、調査にご協力いただいた方々に心から感謝いたしますとともに、今後も市政の運営にご理解とご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

平成29年3月

久留米市長 榎原利則

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
3 調査項目	1
4 地域区分および回収状況	3
5 標本の構成	4
6 調査票回収不能理由	6
7 調査結果利用上の注意	7

II 調査結果の分析

第1章 行政施策	9
1-1 久留米市への愛着	9
1-2 久留米市の住みやすさ	11
1-3 定住意向	17
1-4 久留米市の状況	19
1-5 環境に配慮した取り組み	21
1-6 人権問題	22
1-7 生涯学習活動、文化芸術活動、運動・スポーツ活動の状況	24
1-8 市民活動への参加状況	26
1-9 健康づくりのための運動	28
考察 -行政施策-	29
第2章 地域コミュニティ活動	32
2-1 自治会活動	32
2-2 自治会で取り組むべきこと	37
2-3 地域活動の認知と参加意向	39
考察 -地域コミュニティ活動-	42
第3章 防災対策	45
3-1 災害への不安感	45
3-2 防災対策について	47
考察 -防災対策-	53
第4章 超高齢社会のまちづくり	55
4-1 高齢者のイメージ	55
4-2 高齢期の就労	56
4-3 健康づくり	60
4-4 文化芸術、生涯学習	66
4-5 高齢者支援	76
4-6 防災	82
4-7 公共交通機関の利用状況	86

4-8	終末期医療	91
4-9	超高齢社会に向け取り組むべき施策	95
	考察 - 超高齢社会のまちづくり -	97
Ⅲ	自由意見Q&A集	103
Ⅳ	使用した調査票と全体集計結果	111-129

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、時代と共に変化する市民意識の動向と現在の多様な市民ニーズを科学的、統計的に把握し、今後の市の施策・事業の検討、推進、評価の基礎データとして活用することを目的としている。

2 調査の方法

(1) 調査地域	久留米市全域
(2) 調査対象者	久留米市に在住する満 20 歳以上の人
(3) サンプル数	2,000
(4) 抽出方法	住民基本台帳からの二段無作為抽出法
(5) 実査方法	調査票を郵送し、調査員が訪問回収を行う郵送法併用の留置法 (調査票は封筒に封入したものを回収)
(6) 実査期間	平成 28 年 7 月 22 日～8 月 5 日
(7) 回収数(率)	1,764 票 (88.2%)
(8) 調査の企画と実施	企画 久留米市 協働推進部 広聴・相談課 実施 西日本新聞社 お客さまセンター 調査・マーケティンググループ
(9) 調査結果の分析者	山下永子 (九州産業大学 経営学部 准教授) 武藤桐子 (香蘭女子短期大学 非常勤講師)

3 調査項目

今回の意識調査は、主に、1. 行政施策 2. 地域コミュニティ活動 3. 防災対策 4. 超高齢社会のまちづくり という 4 つのテーマについて実施した。

1. 行政施策 久留米市への愛着度、住みやすさ、定住意向、市の状況をどう感じるかなどについて調査し、久留米市新総合計画に掲げる施策の目指す成果の達成状況を把握する基礎資料として活用する。

2. 地域コミュニティ活動 地域コミュニティ活動への参加経験・意向、自治会への加入状況などについて調査し、市民との協働を推進するための基礎資料として活用する。

3. 防災対策 自然災害に対する不安や災害情報の入手方法などについて調査した。地域防災計画の見直しなど防災対策の基礎資料として活用する。

4. 超高齢社会のまちづくり 超高齢社会を迎える久留米市の現状と市民の意識を調査した。調査は、①「仕事」②「健康づくり」③「文化活動・生涯学習」④「高齢者支援活動」⑤「防災」⑥「公共交通機関」⑦「終末期医療・介護」についての現状やニーズ・意向と、「超高齢社会に向けたまちづくり」の視点で市が取り組むべきことについて尋ねた。

調査の結果は、「来るべき超高齢化社会に向けて、人と人が支えあい、住み慣れた地域で健康・安心に暮らし続けられるまちづくり」を行うための基礎資料として活用する。

◆設問概要図

平成28年度久留米市民意識調査

◆行政施策

(問1～10)

- 久留米市の住みやすさ(問1)
 - 住みやすいと思う理由、住みにくいと思う理由(問1付問1,2)
- 久留米市への愛着(問2)
- 久留米市の状況(問3)
- 普段の生活の中での環境に配慮した取り組みの状況(問4)
- 人権問題の解決に向けて、人権に対する感覚を高めたいか(問5)
 - 人権に対する感覚を高めるために取り組みたいこと(問5付問)
- 生涯学習活動を行っているか(問6A)
- 文化芸術活動を行っているか(問6B)
- 運動やスポーツ活動を行っているか(問6C)
- 市民活動の参加意向・参加状況(問7、8)
- 健康づくりのための運動の頻度(問9)
- 施策の満足度(問10)

◆地域コミュニティ活動

(問11～13)

- 自治会への加入状況(問11)
 - 加入して良かったと思うこと(問11付問1)
 - 加入していない理由(問11付問2)
- 自治会において今後取り組むべきこと(問12)
- 地域で行われている活動の認知度・参加意向(問13A,B)

◆防災対策

(問14・17・18)

- 災害への不安感(問14)
- 緊急時の防災情報の入手方法(問17)
- 力を入れるべき防災対策(問18)

◆超高齢社会のまちづくり

(問15・16、問19～38)

- 一般的に何歳頃から高齢者だと思うか(問19)
- 60歳以降に希望する働き方(問20)
- 高齢者の就労を推進するための重要な取り組み(問21)
- ラジオ体操やウォーキングに関心があるか(問22)
- ラジオ体操やウォーキングの取り組み状況(問23)
- ラジオ体操やウォーキングの普及のために必要な取り組み(問24)
- 文化芸術で高齢になっても取り組みたいもの(A)鑑賞、(B)活動(問25)
- 文化芸術活動をより長く続けるために必要なこと(問26)
- 生涯学習センターでの講座の受講状況(問27)
 - 受講したことがない理由(問27付問)
- 生涯学習センターで受講したい講座(問28)
- 高齢者を支援するボランティア活動への参加状況(問29)
- 高齢者への支援で取り組むことができるもの(問30)
- 地域での支え合い活動への参加意向(問31)
- 地域での支え合い活動に参加するための支援や環境整備(問32)
- 地域の自主防災組織とその活動の認知度(問15)
- 災害時要援護者名簿の認知(問16)
- 公共交通機関の利用状況(問33)
 - 公共交通機関の利用目的(問33付問)
- 公共交通機関の満足度(問34)
- 高齢になっても公共交通機関を利用するために必要な取り組み(問35)
- 病気などで治る見込みがない場合にどこで療養生活を送り最期を迎えたいか(問36)
- 人生の最終段階を迎えた場合に、安心して居宅で療養し、最期を迎えることができるか(問37)
 - 居宅で最期を迎えることができない理由(問37付問)
- 超高齢社会を迎えた今、久留米市が取り組むべきこと(問38)

◆自由意見(久留米市の今後のあり方について)

(問39)

4 地域区分および回収状況

地域別の特徴をみるために、市全体を合計 11 のブロックに区分し分析を行っている。なお、各ブロックに対応する小学校区および校区別の有効回収率は以下の通りである。

ブロック	校区	配布数	有効回収数	有効回収率
東部 A	山川	40	37	92.5%
	山本	20	19	95.0%
	草野	20	17	85.0%
	善導寺	50	46	92.0%
	大橋	10	9	90.0%
東部 B	船越	10	10	100.0%
	水分	10	9	90.0%
	柴刈	10	10	100.0%
	川会	10	9	90.0%
	竹野	20	18	90.0%
	水縄	20	18	90.0%
	田主丸	40	35	87.5%
北部 A	小森野	30	25	83.3%
	合川	100	82	82.0%
	宮ノ陣	60	54	90.0%
北部 B	北野	60	54	90.0%
	弓削	20	19	95.0%
	大城	30	27	90.0%
	金島	20	18	90.0%
中央東部	西国分	110	99	90.0%
	東国分	80	72	90.0%
	御井	60	52	86.7%
南東部	上津	110	98	89.1%
	高良内	70	60	85.7%
	青峰	20	18	90.0%
中央部	荘島	30	28	93.3%
	日吉	40	35	87.5%
	篠山	50	43	86.0%
	京町	40	38	95.0%
	南薫	70	59	84.3%
	長門石	40	33	82.5%
中央南部	鳥飼	60	51	85.0%
	金丸	90	78	86.7%
	南	110	102	92.7%
	津福	80	67	83.8%
南西部	荒木	80	69	86.3%
	大善寺	50	41	82.0%
	安武	40	37	92.5%
西部 A	城島	30	27	90.0%
	下田	10	9	90.0%
	青木・浮島	20	18	90.0%
	江上	20	16	80.0%
西部 B	犬塚	40	34	85.0%
	三瀬	40	36	90.0%
	西牟田	30	28	93.3%
全市		2,000	1,764	88.2%

ブロック	配布数	有効回収数	有効回収率
東部	260	237	91.2%
北部	320	279	87.2%
中央東部	250	223	89.2%
南東部	200	176	88.0%
中央部	270	236	87.4%
中央南部	340	298	87.6%
南西部	170	147	86.5%
西部	190	168	88.4%
合計	2,000	1,764	88.2%

ブロック	配布数	有効回収数	有効回収率
東部 A	140	128	91.4%
東部 B(田主丸)	120	109	90.8%
北部 A	190	161	84.7%
北部 B(北野)	130	118	90.8%
中央東部	250	223	89.2%
南東部	200	176	88.0%
中央部	270	236	87.4%
中央南部	340	298	87.6%
南西部	170	147	86.5%
西部 A(城島)	80	70	87.5%
西部 B(三瀬)	110	98	89.1%
合計	2,000	1,764	88.2%

◆ブロック地図



5 標本の構成

◆基本属性

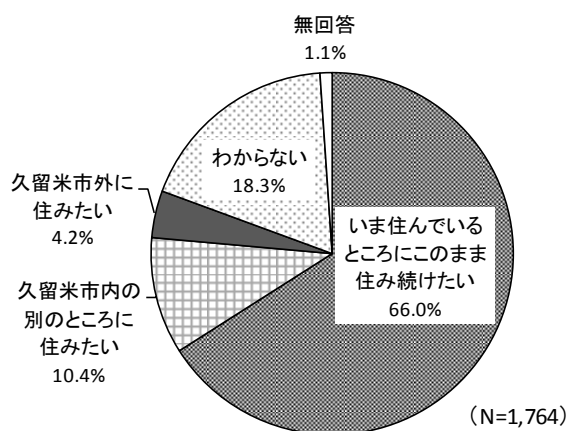
	標本数(票)	性別(%)		年齢別(%)						住まいの形態(%)						
		男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	持ち家・一戸建て	持ち家・集合住宅(分譲マンション)	借家住宅(一戸建て)	賃貸住宅(アパート、マンション)	・寮など (公務員住宅・社宅)	間借り、その他	
全体	1,764	47.0	53.0	10.3	15.9	18.0	16.4	24.9	14.5	66.5	6.1	5.5	20.6	0.9	0.5	
ブロック別	東部A	128	43.0	57.0	9.4	16.4	24.2	12.5	26.6	10.9	75.0	1.6	5.5	16.4	0.8	0.8
	東部B(田主丸)	109	46.8	53.2	4.6	15.6	19.3	17.4	26.6	16.5	91.7	-	4.6	1.8	0.9	0.9
	北部A	161	46.0	54.0	12.4	23.0	16.8	17.4	19.9	10.6	55.3	-	6.8	37.3	0.6	-
	北部B(北野)	118	53.4	46.6	11.0	11.9	20.3	10.2	35.6	11.0	88.1	1.7	-	10.2	-	-
	中央東部	223	50.2	49.8	8.5	11.7	18.4	17.5	25.1	18.8	57.0	10.8	11.2	20.2	0.4	0.4
	南東部	176	45.5	54.5	8.5	15.9	14.8	20.5	25.6	14.8	82.4	-	6.3	10.8	0.6	-
	中央部	236	51.3	48.7	13.6	17.8	14.8	13.6	22.0	18.2	44.9	19.1	3.8	28.8	3.0	0.4
	中央南部	298	44.6	55.4	11.7	14.8	18.8	19.5	22.5	12.8	50.3	10.4	6.4	30.5	1.3	1.0
	南西部	147	46.3	53.7	12.9	16.3	19.7	13.6	23.8	13.6	74.1	2.0	3.4	20.4	-	-
西部A(城島)	70	42.9	57.1	10.0	10.0	10.0	21.4	28.6	20.0	81.4	-	7.1	10.0	-	1.4	
西部B(三潁)	98	42.9	57.1	5.1	21.4	20.4	15.3	27.6	10.2	91.8	-	-	8.2	-	-	

◆標本の構成

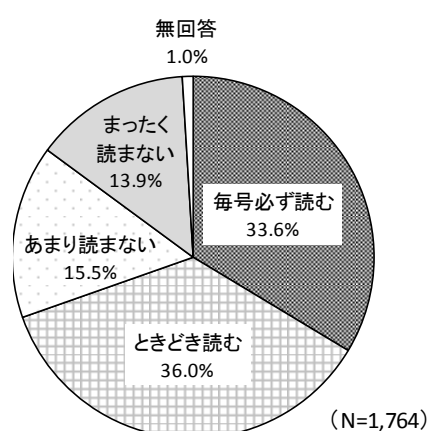
N=1,764		回収数 (票)	比率 (%)
性別	男性	829	47.0
	女性	935	53.0
年齢	20歳代	182	10.3
	30歳代	281	15.9
	40歳代	317	18.0
	50歳代	290	16.4
	60歳代	439	24.9
	70歳以上	255	14.5
	家族構成	単身	181
夫婦のみ		356	20.2
親・子(2世代)		925	52.4
親・子・孫(3世代)		257	14.6
その他		40	2.3
無回答		5	0.3
同居家族	就学前の子ども	251	14.2
	小学生	240	13.6
	中学生	136	7.7
	それ以外の18歳未満の子ども	168	9.5
	65～74歳の方	601	34.1
	75歳以上の方	382	21.7
	上記にあてはまる人はいない	500	28.3
	無回答	10	0.6

N=1,764		回収数 (票)	比率 (%)
職業	農林漁業	45	2.6
	自営業	184	10.4
	給与所得者(常勤)	657	37.2
	パート・アルバイト(学生は除く)	260	14.7
	学生	25	1.4
	家事に専念	214	12.1
	無職	335	19.0
	その他	30	1.7
	無回答	14	0.8
	住居形態	持ち家・一戸建て	1,173
持ち家・集合住宅(分譲マンション)		107	6.1
借家住宅(一戸建て)		97	5.5
賃貸住宅(アパート、マンション)		363	20.6
勤務先給与住宅(公務員住宅・社宅・寮など)		16	0.9
間借り、その他		8	0.5
居住年数	5年未満	151	8.6
	5～10年未満	118	6.7
	10～20年未満	194	11.0
	20～30年未満	303	17.2
	30～40年未満	318	18.0
	40年以上	669	37.9
	無回答	11	0.6

◆久留米市への定住意向



◆「広報くるめ」(ホームページの閲覧を含む)の閲読状況



◆久留米市への定住意向、「広報くるめ」の閲読状況

	標本数 (票)	久留米市への定住意向(%)					広報くるめの閲読状況(%)					
		まとい 住みろ 続け たい いま	たの いと ころ に 住 み 別	の 久 留 米 市 内 に 住 み 別	み 久 留 米 市 外 に 住 み 別	わ か ら な い	無 回 答	毎 号 必 ず 読 む	と き ど き 読 む □	あ ま り 読 ま な い	い ま っ た く 読 ま な い	無 回 答
全 体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	66.0 (1,164)	10.4 (184)	4.2 (74)	18.3 (323)	1.1 (19)	33.6 (593)	36.0 (635)	15.5 (273)	13.9 (246)	1.0 (17)	
性別 × 年齢別	男性:20歳代	89	29.2	15.7	11.2	43.8	-	2.2	16.9	21.3	59.6	-
	男性:30歳代	148	57.4	11.5	4.1	25.0	2.0	14.2	37.2	22.3	25.7	0.7
	男性:40歳代	143	65.7	12.6	4.2	16.8	0.7	21.0	45.5	17.5	15.4	0.7
	男性:50歳代	113	60.2	9.7	4.4	23.9	1.8	21.2	34.5	23.9	18.6	1.8
	男性:60歳代	216	82.9	4.6	3.7	8.3	0.5	38.9	32.9	20.4	7.4	0.5
	男性:70歳以上	120	90.0	4.2	1.7	4.2	-	49.2	32.5	11.7	5.8	0.8
	女性:20歳代	93	40.9	21.5	7.5	26.9	3.2	9.7	32.3	17.2	37.6	3.2
	女性:30歳代	133	52.6	18.8	3.0	24.8	0.8	30.8	42.9	15.0	10.5	0.8
	女性:40歳代	174	58.0	14.9	2.9	23.6	0.6	37.9	37.9	13.2	10.3	0.6
	女性:50歳代	177	61.0	11.3	5.1	20.9	1.7	41.2	41.2	13.0	2.8	1.7
	女性:60歳代	223	78.0	4.9	3.1	12.1	1.8	47.1	37.2	11.2	3.1	1.3
	女性:70歳以上	135	83.7	5.2	3.7	7.4	-	58.5	31.1	3.0	7.4	-

6 調査票回収不能理由

回収不能の総数およびその理由は、以下に示されるとおりである。

◆回収不能理由

理 由	件数 (件)	比率 (%)
不在	109	46.2
拒否	61	25.8
内容不備	17	7.2
対象外	14	5.9
転居・転出	15	6.4
病気、入院・入所	12	5.1
住所不明	7	3.0
死亡	1	0.4
計	236	100.0

7 調査結果利用上の注意

- ◇比率は百分率(%)で、小数点以下第二位を四捨五入した。このため、合計の比率が0.1~0.3%程度増減することがある。また、2つ以上の回答(複数回答)を求めたものについては、比率の合計は100%を超える。
- ◇文中の選択肢の表示は「 」で行い、選択肢のうち二つ以上のものを合計して表す場合は『 』とした。その場合の数値については、選択肢ごとに小数点以下第二位を四捨五入したものを合計して表示した。
- ◇数表、図表に示すNは、比率計算上の基数(標本数)である。
- ◇数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を省略している場合があるので、巻末の調査票を参照のこと。
- ◇本調査における標本誤差は、回答者数(n)と得られた結果の比率によって異なるが、単純無作為抽出法を仮定した場合の誤差(95%は信頼できる誤差の範囲)は、下表のとおりである。

各回答の 比率 P 回答数(n)	10% (又は90%)	20% (又は80%)	30% (又は70%)	40% (又は60%)	50%
3,000	±1.1	±1.4	±1.6	±1.8	±1.8
2,000	±1.3	±1.8	±2.0	±2.2	±2.2
1,000	±1.9	±2.5	±2.8	±3.0	±3.1
500	±2.6	±3.5	±4.0	±4.3	±4.4
100	±5.9	±7.8	±9.0	±9.6	±9.8

なお、本調査のように二段無作為抽出法による場合は、標本誤差が若干増減することもある。また、誤差には回答者の誤解等による計算不能な非標本誤差もある。

(表の見方)

回答者数が2,000人で、ある設問の選択肢の比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は、±2.2ポイント以内(57.8%~62.2%)であると見ることができる。

- ◇過去の調査で今回と同様の質問を行っている場合、随時その結果を掲載している。ただし、平成17年度調査より前においては、調査地域は合併以前の久留米市域のみとなっている。各テーマ別に比較した過去の調査は以下のとおりである。

- 行政施策 平成26・27年度 久留米市民意識調査
- 地域コミュニティ 平成19・23年度 久留米市民意識調査
- 防災対策 平成23年度 久留米市民意識調査